



全国の大学・短大・専門学校に通う学生の夢を応援する「Campus Life+1」。

今回はすでに夢に向かって動き出している、元Campus Life+1応募者にインタビュー。その足跡をご紹介します。

夢に遠回りはない！ ロリータファッションを より多くの人に届けたい

今や世界中でも愛好家がいる日本発のファッション、ロリータファッション。英国のビクトリア王朝時代の貴婦人をイメージしたスタイルを日本的に解釈したといわれるファッションで、日本では2000年代初頭に公開された映画の影響もあり一般にも知られるようになった。そんなロリータファッションに魅せられたのが、現在販売の仕事をしながら、自身で「Gypsy ophure (シプソフル)」というブランドを立ち上げた原田さん。高校生のとき、大好きなアイドルが出演している映画の試写会に参加した際、ドレスコードだったロリータファッションを身にまとったことがきっかけだったという。

Campus Life+1に出て夢が明確になった



原田佳澄さん
22歳

神奈川県出身。学生時代は服飾系の大学に通い、服づくりについて学ぶ。現在はショップで販売の仕事についている。

「そのかわいさにすぐに夢中になりました。そして次第にその服をつくりたいという思いが高まり、服飾系の大学に通い服づくりを学び、さらに自分でつくるようになったのです」

そして、2015年 Campus Life+1に参加。多数の応募の中からファイナル選考まで残った。「Campus Life+1に参加したことで、自分の夢が明確になりました。あの日を境に私の人生は大きく変わったと思います」

その後ブランドを立ち上げ、製作に励み、自身のECサイトを中心に販売をするようになった。

販売の仕事のおかげでニーズをつかめるように

大学卒業後は、アパレルで販売員の仕事をしながら、休日にアイテムづくりに励んでいる。販売の仕事をするのが、服づくりに大きく役立っているという原田さんは話す。

「今までつくり手である自分の思いが意識していませんでした。販売の仕事をするようになり、どんな人が購入してどのような着こなすか、ニーズまで考えられるようになったんです」

そんな原田さんは先日、クリエイターたちがブーイスを出して作品を販売するアートフェスティバルに出店。リアルな場ではじめて自分の服を販売した。

「少しは売れましたが、まだまだだなと痛感しました。将来的には、私はデザインを専任し、パタンナーなど各分野のスペシャリストたちを仲間に入れて、ブランドのアイテムを増やしていきたいです。そして、ロリータファッションの魅力を発信していきたいです」

原田さんの 夢の履歴書

- 2013年：映画の試写会でロリータファッションに出会う
- 2015年：Campus Life+1に出場
- 2016年：自身のブランドを立ち上げる
- 2017年：オリジナル作品の販売をはじめる



実際に原田さんがつくったスカート。
最近ではカジュアルなロリータファッションをつくっている



自身のブログで服の販売をしている原田さん。
現在は月に2作品ほど製作をしている

応募要項

【応募資格】●現在、大学(院)生、短大生、専門学校生、高校生、高等専門学校生、高等専修学校生の方(20歳未満の方は保護者同意の上で応募ください)●日本国内に在住している方。国籍は問いません。●団体での応募も歓迎(最終選考出場は1チーム5人までとする)●2019年3月に東京にて開催予定の最終選考に参加いただける方※詳細は一次選考合格の方へご連絡の際にお知らせいたします。●過去に「Campus Life+1」にご応募いただいた方の応募も可能です。

右下のURL、2次元バーコードからサイトにアクセスし、必要項目をご記入ください。

エンタク 検索 <http://entac.jp/>

応募期間:2018年7月20日(金)~2019年1月20日(日)

